

令和3年度日本小児外科学会  
第7回定例理事会議事録

日 時：令和4年3月8日（水） 11：00～16：00

会 場：大阪大学東京オフィス＋Web

出席者（大阪大学東京オフィス）：

奥山宏臣（理事長・次期会長）、小野 滋（副理事長）、浮山越史、田中 潔（以上理事）、黒田達夫、山高篤行（以上監事）、仁田尾慶太（事務局）

出席者（Web）：

越永従道（理事・会長）、大植孝治、石橋広樹、内田広夫、瀧本康史、米田光宏（以上理事）、田尻達郎（前理事長）、照井慶太（庶務委員長）、藤野明浩（庶務副委員長）、上原秀一郎（財務会計委員長）、浦尾正彦（財務会計副委員長）、家入里志（施設認定委員会委員長）、菱木知郎（専門医認定委員会委員長）、古村 眞（専門制度庶務委員会委員長）、金森 豊（第37回秋季シンポジウム会長）、野田卓男（第38回秋季シンポジウム会長）、臼井規朗（第39回秋季シンポジウム会長）

議事案件：

議 事：

1. 第7回定例理事会の議事録署名人は、大植孝治理事、浮山越史理事とした。
2. 令和3年度第6回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
3. 審議事項

1) 第58回学術集会について（黒田前会長）

黒田前会長より資料に基づき、第58回学術集会会計報告がなされ、承認された。

2) 第59回学術集会について（越永会長）

越永会長より、現在の進捗状況の報告があり、承認された。海外名誉会員のKevin Lally先生が来日できなくなったため、来年開催される第60回学術集会の時にKevin Lallyに対する海外名誉会員受賞講演および名誉会員証の授与を行うこととした。また、空いてしまったKevin Lally先生の講演の枠には優秀論文賞およびPSI Prizeの表彰式を行うこととした。

日時：令和4年5月19日（木）、20日（金）、21日（土）

会場：虎ノ門ヒルズフォーラム

テーマ：創業と守成

3) 第60回学術集会について（奥山次期会長）

奥山次期会長より資料に基づき、プログラム等進捗状況が報告され、承認された。

日時：令和5年6月1日（木）、2日（金）、3日（土）

会場：大阪国際会議場

テーマ：All is well!～次世代へのエール～

- 4) 第37回秋季シンポジウムについて（金森前秋季シンポジウム会長）  
金森前秋季シンポジウム会長より資料に基づき、第37回秋季シンポジウム会計報告がなされ、承認された。
  
- 5) 第38回秋季シンポジウムについて（野田秋季シンポジウム会長）  
野田秋季シンポジウム会長より資料に基づき、ホームページの準備が出来たので、近日中に学会HPにリンクを貼る予定など進捗状況が報告され、承認された。  
日時：令和4年10月29日（土）  
会場：岡山コンベンションホール  
テーマ：小児外科治療後のサルベージ
  
- 6) 第39回秋季シンポジウムについて（臼井次期秋季シンポジウム会長）  
臼井次期秋季シンポジウム会長より資料に基づき、3月2日にキックオフミーティングを開催したことなど進捗状況が報告され、承認された。  
日時：令和5年10月28日（土）  
会場：九州大学百年講堂  
テーマ：小児外科領域における感染症対策
  
- 7) 各種委員会報告および審議事項
  - (1) 庶務委員会（照井委員長）  
照井委員長より、資料に基づき報告がなされた。  
2022年2月末現在の会員数は、評議員を除く正会員1,690名（うち海外1名）、評議員310名、準会員25名、名誉会員55名（うち海外8名）、特別会員67名（うち海外1名）、賛助会員1団体の合計2,147名+1団体である。  
継続審議で合ったクォーター性について再度審議が行われ、定款施行細則の改訂が承認され、本件は重要事項であるため、評議員会の理事長報告で触れること、評議員会の前に事前に会員に周知をすることとした。  
また、次々期会長選挙、専門医制度委員選挙についての公示を次回から理事会で確認することとし、今回は持ち回りで公示文書の確認を行うこととした。  
今年度の事業報告、来年度の事業計画については各委員会において修正がある場合には事務局まで連絡することとした。
  
  - (2) 財務会計委員会（上原委員長）  
上原委員長より、各委員会に予算申請を3月15日の締め切りでお願いしていることや、今年の決算スケジュールについて報告された。

(3) 専門医制度委員会（家入施設認定委員会委員長、菱木専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長）

家入施設認定委員会委員長、菱木専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長より、以下の点について報告があり、承認された。

- ・2016年卒以降の専門医申請に関する、専門医制度システムの改修内容について、研修開始ボタンと年次報告が連動できるシステムとして、2022年度内で構築を行い、改修費用は200万程掛かることが報告された。
- ・第59回学術集会の特別企画として、新専門医制度について報告を行う予定である。

(4) 機関誌委員会（大植担当理事）

大植担当理事より、資料に基づき報告がなされ、承認された。

- ・優秀論文の選定について、原著論文は以下の論文が選定され、承認された。

「超音波検査による移動性精巣術後の精巣発育の検討」

中田 千香子, 幸地 克憲, 武之内 史子, 松岡 亜記, 矢部 清晃, 古来 貴寛. 57巻3号, 591-595頁

また、症例報告に関しては、以下の論文が選定され、承認された。

「鎖肛を伴わない男児肛門尿道瘻の1例」

鮫島 由友, 森田 圭一, 植村 光太郎, 河原 仁守, 春名 晶子, 杉多 良文, 前田 貢作, 畠山 理. 57巻1号, 18-21頁

- ・転載料の利用料について検討を行うと報告された。

(5) 国際・広報委員会（渕本担当理事）

渕本担当理事より資料に基づき、指針ページの改訂作業を行っているとの報告され、承認された。

(6) 保険診療委員会（浮山担当理事）

浮山担当理事より資料に基づき、令和4年度の診療報酬改定の結果が報告され、承認された。また、地域総合小児医療認定医の条件に小児外科専門医が認められたとの報告があり、今後日本小児外科学会認定登録医でも条件を満たせるように交渉を続けていくとの報告された。

(7) 教育委員会（内田担当理事）

内田担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

- ・学生、若手医師のリクルート・育成するための具体的方策案の日本小児外科学会のPRビデオ制作について、予算100万円以内に収められるようCBCクリエイションと交渉をしたとの報告がされた。

- ・日本医学会より、「奇形」を含む用語を見直すよう依頼があったとの報告があり、「直腸肛門奇形」の代替用語候補を検討した結果、第1候補「直腸肛門形成異常」、第2候補

「直腸肛門形成不全」となった。

・自治医科大学で豚を用いた手術手技のサマースクールの開催を検討していると報告された。

(8) 悪性腫瘍委員会（大植担当理事）

大植担当理事より資料に基づき、2011-2017年の追跡調査を地区センター経由で行っていることと、来年第60回学術集会においてそれに関する報告を行う予定である。

(9) 学術・先進医療検討委員会（米田担当理事）

米田担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

・「NCD小児外科領域におけるRisk Calculatorに関する会員アンケート調査」について申請があり、本学術アンケート調査の実施について問題ないとの結論で承認された。

・優秀動画を学会でホームページ上に保管するための著作権の書類の保管について、過去の分と合わせて今後書類は電子ファイルとして、学会事務局に保管することにした。

(10) 倫理・医療安全管理委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より資料に基づき、日本泌尿器科学会から泌尿器科領域の処置・検査のマニュアルやガイドライン作成に関するアンケート依頼があり、回答したことが報告された。

(11) データベース委員会（田中担当理事）

田中担当理事より、今年度のNCDデータを利用した小児外科領域の新規研究募集について、学会HP上にバナーを貼りメール配信にて、会員に公募することが報告された。

(12) 小児救急検討委員会（田中担当理事）

田中担当理事より、今年度の門田分担班の研究のCOVID-19による小児外科診療への影響に関するアンケート調査の報告書について、さらに詳細な解析を加えた上で学会雑誌に掲載予定であると報告された。

(13) トランジション検討委員会（田中担当理事）

田中担当理事より、外科疾患を有する児の成人期移行についてのガイドブックについて委員会で作業を行っていることが報告された。

(14) ワークライフバランス検討委員会（浮山担当理事）

浮山担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

・「ハラスメントに関するアンケート調査」を12月に調査をし、300名弱の会員から回答があり、第59回学術集会でハラスメントに関するワークショップを開催予定。

・2022年10月に開催予定の秋季シンポジウム、PSJMにおいて、当委員会恒例の講演会

として、今回は講師に小説家海堂尊氏を迎える。

・「ハラスメント防止宣言」の原案が提出され、相談窓口は第三者委員会でないという意見があり、再度検討することとした。

(15) 規約委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(16) 研究倫理委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より資料に基づき、第59回学術集会の抄録を委員会で倫理手続きに関する点についてチェックを行い、越永会長に報告した。今回は初めての試みであったが、確認する時間が短かったため、来年はもう少しスケジュールに余裕があった方がいいと報告された。

(17) NCD連絡委員会（淵本担当理事）

淵本担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

・e-Learning について、新たにデータ入力に携わる担当者の育成、マイナーールの発生防止、登録内容の正確性維持、変更点や注意点の周知等を目的に、NCD ホームページにある e-Learning を利用することを検討しており、現在、NCD ホームページ上では基本項目と心臓血管外科で利用されているが、同様な形式で小児外科用設問を設定する予定。NCD 事務局からは新規に5万円、20設問登録で3万円、計8万円（持続利用可能、設問変更時3万円追加）で利用可能との説明を受けたと報告された。想定しているNCD-小児外科領域会議に置き換わるものであるかの確認が取れなかったため、再度委員会において確認の上、再度審議することとした。

・門田班の研究がまとまったと報告され、来年第60回学術集会において発表予定である。

(18) ガイドライン委員会（米田担当理事）

米田担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

・腸回転異常症診療ガイドラインについて、書籍版が2022年3月18日発売予定。一般公開は出版の半年～1年後を予定。書籍については、認定施設、教育関連施設A・B、特定教育関連施設に配布予定、また、配布後半年を目処に、診療ガイドライン公開前後の推奨実施について調査し、次期改訂につなげるため、使用后アンケート調査を企画。

・小児胃軸捻転症診療ガイドラインについて、1月14日、3月15日にCQ検討会議をWeb開催予定、CQ作成後に外部評価・パブリックコメントを募集予定である。

・日本外科学会「外科学用語集 Web版」改変要望として①「胃軸捻(症)」、②「イレウス」について提出したいと提案があり、日本外科学会に提出することとした。

(19) 利益相反委員会（奥山理事長）

奥山理事長より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(20) 医薬品・医療機器検討委員会（内田担当理事）

内田担当理事より資料に基づき、1月29日に2021年度「全体班会議及び小児関連学会代表委員との情報交換会」が開催され、55年通知に則った適応外使用事例の申請についての話があったと報告がされた。また、オメガベンはAMEDに申請が通らなかったと報告があり、また次回申請することが報告された。

(21) 総合調整委員会（小野委員長）

小野委員長より資料に基づき、以下の点について検討を行ったと報告された。

- ・ハラスメント予防指針作成について
- ・女性理事のクォーター制度について
- ・新専門医制度における学会の取り組み
- ・本学会のパーパスマネジメント
- ・学術集会のあり方について
- ・小児外科関連研究会の今後のあり方
- ・小児外科専門医の地域ごとの適正数
- ・学生、若手医師をリクルートするための具体的方策
- ・海外での研修システム、海外からの研修の受け入れについて

(22) 日本外科学会理事会（田尻前理事長）

田尻前理事長より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

- ・サブスペシャリティ学会理事長協議に奥山理事長の代理で参加したと報告があり、「学会配信などに関するインフラを共有し、学術集会の内容も共有して、そこで話し合えるような、学会運営に関する質的な課題を解決することを目的とした外科系学会各位が社員となる法人を設立すること」という提案があったと報告され、継続審議で会が終わったと報告された。

(23) 四者協関連（奥山理事長）

奥山理事長より資料に基づき、2月24日に日本小児期外科系関連学会協議会の定時社員総会が開催され、診療報酬改定については要望書にガイドラインの記載が重要視されていること等について報告された。

8) 第31回日本医学会総会登録推進委員について（奥山理事長）

奥山理事長より資料に基づき、第31回日本医学会総会より登録推進委員の推薦依頼があり、国際・広報委員会の渚本担当理事を推薦したと報告され、承認された。

9) 名誉会員・特別会員推戴について（奥山理事長）

審議の結果、以下の7名を本年度推戴候補者として内諾を確認の後、社員総会（評議員会）に諮ることとした。

名誉会員推戴候補者：松藤 凡先生

名誉会員推戴候補者：北川 博昭先生

名誉会員推戴候補者：八木 實先生

特別会員推戴候補者：大野 康治先生

特別会員推戴候補者：檜山 英三先生

特別会員推戴候補者：漆原 直人先生

特別会員推戴候補者：田中 芳明先生

10) 2022年度理事会日程調整について（奥山理事長）

2022年度の定例理事会日程を確認し、以下のように了承された。総合調整委員会についてはメールにて日程調整することとした。

第1回 令和4年6月13日（月） 11:00～16:00

第2回 令和4年9月7日（水） 11:00～16:00

第3回 令和4年10月26日（水） 10:00～14:00

第4回 令和5年1月16日（月） 11:00～16:00

第5回 令和5年3月7日（火） 11:00～16:00

第6回 令和5年5月31日（水） 10:00～14:00

11) ウクライナ小児外科学会からの要請について（奥山理事長）

奥山理事長より資料に基づき、ウクライナの小児外科学会からEUPSA、WOFAPS、ESPES、IPEG向けにロシアとベラルーシの会員資格を停止してほしいこと、学術集会への参加を禁止すること、各種イベントへの参加を禁止することについて要請がされているという情報が入ったと報告された。本学会としては単独でのステートメントの発信はせずに日本外科学会から要請があれば検討を行うこととした。

12) 日本医学会創立120周年記念事業の参加要請について（奥山理事長）

奥山理事長より資料に基づき、日本医学会から4月2日に日本医学会創立120周年記念事業としてシンポジウムを開催するとお知らせがあり、日本医学会に加盟している各学会向けに、会員数に応じて参加者を要請されていることが報告された。本会としては各理事の所属施設に5名の参加要請をすることとした。

4. 報告事項

1) 理事長報告（奥山理事長）

(1) 日本小児科医会からの寄贈本「日本小児科医会会報第62号」を受領した。

(2) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.389」を受領した。

(3) 神奈川県医師会からの寄贈本「神奈川医学会雑誌第49巻第1号」を受領した。

- (4) 日本製薬工業協会からの寄贈本「製薬協ニューズレター No.207」を受領した。
- (5) 日本医学放射線学会からの寄贈本「画像診断ガイドライン 2021年版」を受領した。
- (6) 国際医学情報センターからの寄贈本「あいみつく vol.42-4」を受領した。
- (7) 日本医療安全調査機構からの寄贈本「医療事故の再発防止に向けた提言」第15号を受領した。
- (8) 日本小児科医会からの寄贈本「令和元年度情報収集分析事業報告書」を受領した。
- (9) 日本臨床栄養代謝学会からの通信文「事務局所在地変更のお知らせ」を受領した。
- (10) 外科関連学会協議会からの通信文「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」の賛同学会追加のお知らせを受領した。
- (11) 日本外科学会からの通信文「第123回日本外科学会定期学術集会プログラム」を受領した。
- (12) 「アセトアミノフェン低容量要望書」を受領した。
- (13) 「AAPS 2022のご案内」を受領した。

2) 次回定例理事会日程の確認（奥山理事長）

次回理事会は令和4年5月18日（水）10：00～14：00 虎ノ門ヒルズフォーラムにて開催することが確認された。

理事長 \_\_\_\_\_

理 事 \_\_\_\_\_

理 事 \_\_\_\_\_